



与中テスト革命!

第1号



与那原中学校「週単元テスト」広報

R6.1.17発行

与那原中学校がR5年度から取り組んでいる「週単元テスト」ですが、これまで実施されてきた「定期テスト」との違いもあり、不安に感じている児童生徒・保護者も多いようです。そこで「週単元テスト」のメリットや期待される成果等について、本通信であらためて紹介していきます。



Q1 定期テストがなくなると、勉強しなくなるのではないですか？



A1 テストがなくなったわけではありません。
回数(機会)や範囲を工夫したことで、どの教科もしっかりと取り組めるようにしています！



「定期テスト」と「週単元テスト」の回数(機会)と範囲の違い

これまでの

4月

6月中旬(R4の場合)

定期テスト



1学期
中間テスト

この期間に学習した5教科の内容を2日間のテストで確認

時間がないから
数学はあきらめて
他の教科で勝負しよう...

「定期テスト」といえば
こんな思い出ありませんか...?

久しぶりの部活動休みだから
友達と遊びたいな...

範囲が広すぎるから、イチかバチか
出題されそうな部分に絞って勉強だ！

一気に暗記したから、定期テストが
終わったら忘れちゃった...



そこで...

4月

6月中旬

週単元
テスト



5月中旬から毎週火・金に25分間のテストを10回実施

R5の実施状況
(中学3年生)

国語×2
社会×2
数学×1
理科×3
英語×2

- ◎テストは1教科ずつなので「捨て教科」ナシ!
- ◎出題範囲は単元ごとなので、定期テストのような広い出題範囲を丸暗記するという必要ナシ!
- ◎単元の学習が終わってすぐに、テストで定着を確かめられるのでしっかりと身につけやすい!
- ◎テスト前の部活動停止ナシ → 計画的な休養に

テストがなくなったわけではなく
逆に回数は増えているとも言えます。
「今週は何のテストがあるの?」
「次のテストも頑張る!」という
保護者からの声かけをお願いします!

